



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

上場会社名 中部飼料株式会社

上場取引所 東名

コード番号 2053 URL <https://www.chubushiryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 京一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長管理本部長 (氏名) 伊藤 敏宏 TEL 052-204-3050

配当支払開始予定日 一

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	158,120	0.4	4,423	63.4	4,908	56.9	3,721	57.0
	157,428	△12.6	2,707	66.8	3,128	50.1	2,370	49.2

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 5,776百万円 (152.9%) 2025年3月期第3四半期 2,284百万円 (△13.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	127.20	—	
2025年3月期第3四半期	80.18	—	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 108,600	百万円 70,362	% 64.7
2025年3月期	101,582	67,517	66.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 70,268百万円 2025年3月期 67,420百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 25.00	円 銭 —	円 銭 27.00	円 銭 52.00
2026年3月期	—	30.00	—		
2026年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 212,000	% 1.0	百万円 5,200	% 21.4	百万円 5,600	% 16.3	百万円 4,100	% 17.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |    |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | ：無 |
| ④ 修正再表示              | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- |                     |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数           |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計）    |

2026年3月期3Q	30,371,908株	2025年3月期	30,371,908株
2026年3月期3Q	1,538,935株	2025年3月期	800,942株
2026年3月期3Q	29,254,227株	2025年3月期3Q	29,567,459株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は T D n e t で同日開示しています。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結貸借対照表に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8
(重要な後発事象の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大などにより、景気は緩やかな回復基調にあります。一方で、米国の関税政策による世界経済の減速、物価上昇の継続による景気の下押しリスク、日中関係悪化の影響などが懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

飼料業界におきましては、高値圏にあった主原料のとうもろこし価格が春以降下落し、比較的低位で推移したことや、円安基調にあった外国為替相場が夏場まで円高で推移したことなどから、原材料価格は低下しました。これを受け、当社は4月以降3四半期連続で配合飼料価格を値下げしました。一方、飼料メーカーが負担する飼料価格安定基金負担金単価は依然として高い水準にあり、厳しい事業環境は続いております。

このような状況のなか、当社グループは持続的な成長を実現するため、2025年3月期を初年度とする「中期経営計画2024」を策定し、飼料セグメントの規模拡大と収益力向上、その他セグメントの事業成長の加速、成長する収益基盤を支えるサステナビリティ経営の推進の3つの基本戦略を推進してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,581億20百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益44億23百万円（前年同期比63.4%増）、経常利益49億8百万円（前年同期比56.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益37億21百万円（前年同期比57.0%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (飼料)

売上高は、前年同期比で畜産飼料販売量が増加したものの、平均販売価格が下落したことなどから、前年同期比0.6%減の1,437億87百万円となりました。セグメント利益は、前年同期比75.4%増の44億73百万円となりました。畜産飼料事業は、人件費や修繕消耗品費、飼料価格安定基金負担金等の増加があったものの、養鶏用飼料や養豚用飼料の拡販による販売量増加、原料ポジション改善による利益率上昇などにより、増益となりました。また、水産飼料事業は、前年同期比で販売量が増加したことや、原料相場の下落と配合割合を工夫した製品の投入による利益率上昇、水産物価格の上昇などにより、増益となりました。

#### (その他)

売上高は、前年同期比12.5%増の143億32百万円、セグメント利益は、前年同期比14.4%減の7億86百万円となりました。鶏卵販売は、鶏卵の相場高を背景に特殊卵の販売が好調を維持し、増益となりました。また、肥料は、販売量が増加したことにより、原価低減の取組みにより利益率が上昇し、増益となりました。一方、畜産用機器は、前期に販売した海外の大型案件の反動により海外向けの販売台数が大幅に減少し、減益となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ70億17百万円増加の1,086億円となりました。主な増減は、受取手形及び売掛金の増加72億28百万円、商品及び製品の増加11億9百万円、有形固定資産の増加12億53百万円、投資有価証券の増加29億47百万円、現金及び預金の減少57億25百万円であります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ41億72百万円増加の382億37百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加45億円、その他固定負債の増加9億56百万円、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）の減少9億60百万円であります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ28億44百万円増加の703億62百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の増加20億48百万円、その他有価証券評価差額金の増加20億72百万円、自己株式の増加12億40百万円であります。純資産の増加率が総資産の増加率を下回った結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.7ポイント低下の64.7%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月7日に公表いたしました数値から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	11,942	6,216
受取手形及び売掛金	38,957	46,185
商品及び製品	2,417	3,526
仕掛品	547	627
原材料及び貯蔵品	8,043	8,690
その他	4,576	3,911
貸倒引当金	△326	△170
流动資産合計	66,157	68,988
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,144	10,577
機械装置及び運搬具（純額）	6,639	6,296
工具、器具及び備品（純額）	1,212	1,355
土地	6,654	6,867
リース資産（純額）	67	94
建設仮勘定	1,042	1,821
有形固定資産合計	25,759	27,013
無形固定資産	381	330
投資その他の資産		
投資有価証券	6,943	9,891
その他	3,409	3,444
貸倒引当金	△1,069	△1,067
投資その他の資産合計	9,283	12,267
固定資産合計	35,424	39,611
資産合計	101,582	108,600

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	15,240	19,741
短期借入金	1,300	—
1年内返済予定の長期借入金	2,207	2,547
未払法人税等	960	771
賞与引当金	419	353
役員賞与引当金	63	39
その他	3,169	3,374
流動負債合計	23,361	26,827
<b>固定負債</b>		
長期借入金	6,306	6,014
退職給付に係る負債	477	493
資産除去債務	72	96
その他	3,847	4,804
固定負債合計	10,703	11,410
<b>負債合計</b>	<b>34,064</b>	<b>38,237</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	4,736	4,736
資本剰余金	4,319	4,315
利益剰余金	56,197	58,246
自己株式	△938	△2,178
株主資本合計	64,315	65,119
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	2,631	4,704
繰延ヘッジ損益	△43	68
為替換算調整勘定	137	101
退職給付に係る調整累計額	379	274
その他の包括利益累計額合計	3,105	5,149
<b>非支配株主持分</b>	<b>97</b>	<b>93</b>
<b>純資産合計</b>	<b>67,517</b>	<b>70,362</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>101,582</b>	<b>108,600</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	157,428	158,120
売上原価	144,017	142,347
売上総利益	13,410	15,772
販売費及び一般管理費	10,703	11,348
営業利益	2,707	4,423
営業外収益		
受取利息	6	10
受取配当金	229	255
持分法による投資利益	102	198
その他	115	72
営業外収益合計	454	536
営業外費用		
支払利息	27	43
その他	5	8
営業外費用合計	32	52
経常利益	3,128	4,908
特別利益		
固定資産売却益	8	6
投資有価証券売却益	265	358
特別利益合計	273	364
特別損失		
固定資産除売却損	1	6
投資有価証券評価損	1	0
特別損失合計	3	7
税金等調整前四半期純利益	3,399	5,265
法人税、住民税及び事業税	949	1,414
法人税等調整額	85	116
法人税等合計	1,034	1,530
四半期純利益	2,364	3,734
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,370	3,721

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,364	3,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△245	2,072
繰延ヘッジ損益	176	112
為替換算調整勘定	9	△15
退職給付に係る調整額	△32	△105
持分法適用会社に対する持分相当額	10	△22
その他の包括利益合計	△80	2,041
四半期包括利益	2,284	5,776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,288	5,765
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	10

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

保証債務

取引先に対し、次のとおり債務保証を行っております。

前連結会計年度 (2025年3月31日)			当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
得意先の金融機関借入保証 1 件 69 百万円			得意先の金融機関借入保証 1 件 69 百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費 2,171 百万円	2,218 百万円

## (セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	計				
売上高						
外部顧客への売上高	144,687	144,687	12,741	157,428	—	157,428
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	12	12	△12	—
計	144,687	144,687	12,753	157,440	△12	157,428
セグメント利益	2,550	2,550	918	3,469	△70	3,399

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器、鶏卵販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,050百万円、金融収支858百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	計				
売上高						
外部顧客への売上高	143,787	143,787	14,332	158,120	—	158,120
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	25	25	△25	—
計	143,787	143,787	14,357	158,145	△25	158,120
セグメント利益	4,473	4,473	786	5,260	5	5,265

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器、鶏卵販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,114百万円、金融収支932百万円、投資有価証券売却益358百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

(重要な後発事象の注記)

(固定資産の譲渡)

当社は、2026年1月30日付の取締役会において、下記のとおり、固定資産の譲渡について決議しました。

1. 譲渡の理由

経営資源の有効活用及び資産効率の向上を図るため。

2. 譲渡先の概要

譲渡の相手先につきましては、国内の事業法人ですが、相手先との取り決めにより公表を控えさせていただきます。なお、相手先と当社との間には、記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。また、相手先は当社の関連当事者には該当しません。

3. 譲渡資産の内容

土地及び建物等（神奈川県横浜市）

4. 譲渡の時期

2026年4月（予定）

5. 業績に与える影響額

当該固定資産の譲渡に伴い、2027年3月期第1四半期連結会計期間において固定資産売却益約31億円を特別利益に計上する予定であります。